

---

# 『ラストバトルアクト・2212』

馬路キレ子

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

『ラストバトルアクト・2212』

### 【Zコード】

N7966D

### 【作者名】

馬路キレ子

### 【あらすじ】

広大な砂漠に物言わぬ鉄の巨人が埋まる。光を失った朽ち果てていく廃墟の街をバックに、人類最後の戦いが始まる。その戦いに意味はない…

## (前書き)

この物語はフィクションです。

実際に存在する団体名、役職名などは一切関係ありません。

描写に關してあえて端折つてゐる部分がありますがそこは想像で保管してください。

西暦2112年

肥大し続ける地球人類の一方的な開拓という名の破壊によつてますます悪化の一途をたどる地球環境は、22世紀以降も便利さに慣れ親しんだ人間達の欲望への抑止は出来ず、全ての大地が荒廃し続ける結果をもたらした。

西暦2201年

ついに海は陸を包み、空は灰色を得、山は緑を無くし、陸は砂漠と化していった。

太陽の日差しが消え、淀んだ空気に運ばれ凶悪な伝染病が蔓延し、僅かな草は塩気を帯び、家畜は死に、人々は味わったことの無い巨大な食糧危機に陥つた。

しかし、一部の特権階級の覇権争いは、逼迫する自国民達の生活を足蹴にし

自ら、ついに公においての平和という概念を崩し、資源とエネルギーを求め

強国が弱国を武力で支配する時代に突入した。

武力だけが強大化した國同士の戦争は苛烈を極めた。

驚くべき科学の発達は、効率的で最も被害の広がる有人機動兵器を生み出した。

『A・S・A II Assumption・Slaughter・Armament（殺戮を前提とした兵器）』

西暦2211年

長く膠着していた10年にも及ぶ戦争は終結した。

しかし最後に勝利した国家は、強大な兵器の生産の維持に疲弊した

挙句

戦勝者であるはずの自国民の多くの犠牲者と共に空中瓦解し  
取り戻せるはずであった秩序は崩壊する。

僅かな食料を巡り、減少した人類は破滅の一途を辿った。

西暦2212年9月4日

砂漠に埋もれる多数のASAの残骸に囲まれた場所に  
緑の光点を走らせ、夜の静寂を切り裂くように発射される弾丸が

爆音を鳴らせ砂漠の砂を巻き上げ、飛び交っている。

砂塵を巻き上げ、火器から出るマズルフラッシュに反射するよう  
に浮き出る

灰色と緑色、一機のASAが、そこには居た。

二機は、砂漠と化した地面を激しく、どこか物悲しそうに跳ぶ。

ガガガツ！キュイイイイーンツ！

砂漠を脚部のダッシュキュシステムで駆けながら

背部に『サイドアップ』と書かれた灰色のASAが手に持ったガトリングガンを両手で持ち上げ、角度を確認するや否や同じく高速移動している緑色の機体に向けて掃射する！

バルル・・・ダダダダダダダダダダダダダダッ！

背部に『ターンオーバー』と書かれた緑色のASAは脚部のダッシュキューニットのスピードを瞬時に1段階緩めると飛び散る薬莢と共に迫る弾丸をすんでの所で避けきる！

ガン！・・・パスンパスン！

威力の收まらない避けられた無数の弾丸は一方は砂地に埋もれるASAに、一方は築かれた砂山の一部を破壊し放物線を描き砂の大地へと落下した。

ガキンッ！ギュイイン・・・！

ターンオーバーから轟音が発せられる。

そして、その場で踏ん張るような姿勢になると

ダッシュキュシステムのギアをまた一段階あげ、砂の大地から巻き上がる砂と共に滑空するが如き速さでスピードをあげる。

ブウイン・・・

ターンオーバーの右手に握られた鉛色の剣らしき物体が、  
鈍い音と共に鮮やかなピンク色を発していく。

高熱を伴う接近戦用武器『ザーマルブレード』の出力を上げ、  
脇を占めるような姿勢でASAの腕を曲げると同時に手首を傾け、  
丁度サイドアップの胴体と同じ高さ程度に  
ザーマルブレードを機体に向かって水平に保つ。

キュイイイーンンードドドッ！

砂山と壊れたASAの残骸の頼りない装甲を遮蔽物に見立てて  
サイドアップへと、近づくターンオーバー！

左手に握られているアサルトライフルから三点バーストで発射される  
特殊弾丸で威嚇射撃を行い、ダッシュユニットによる高速移動を用  
いて

避け続けるサイドアップの進行方向への動きを止め、距離を縮める！

・・・ブウウン！

より鮮やかなピンク色を輝かせるザーマルブレード！

アサルトライフルより射程で勝るガトリングガンに対して

接近戦で一気に勝負をつけようといふバイロットの気持ちの表れが  
見え隠れする。

キュイイイン！ガタンッ！

しかし、サイドアップもただでやられるわけにはいかないと  
弾丸を避けながらの精密射撃の出来ない

無理な姿勢から再びターンオーバーに向けてガトリングを掃射する！

バルル・・・ダダダダダダダダッ！

近距離で放たれる弾丸は、ほぼターンオーバーに向けて  
水平方向に直線を描くように飛んでいく！

ガンッ！ガンガンッ！

ザーマルブレードを構えながらの姿勢制御システムが利いているた  
めか

襲つてくる高速の強化弾丸を流石に避けきれず、ターンオーバーは  
濃い緑色の映える胸部アーマーに数発弾丸の直撃を食らってしまう！

屈強なアーマーは見る見るうちに弾丸の形の窪みを作り湾曲し、  
ついには弾丸の衝撃力に負け巨大なプレートごと機体から剥がれ  
砂の大地へと放り投げられた！

ガウン・・・・『ウン・・・・ドオン・

砂漠へと巻き上げられたプレートが弾丸に残された火力と共に無残にも黒煙と砂塵を巻き上げながら爆発する！

ブン・・・・ガガガッ・・・・！

爆発の衝撃がむき出しになつた「クピット」を揺らす！

アーマーが吹き飛んだことで少し上半身のバランスを崩したターンオーバーだったが、駆動系の損傷はゼロに等しかったためザーマルブレードを再び横へ滑らすと止まることなく

恐れることなく正面のサイドアップへと

脚部のダッシュシステムのギアをあげ加速をかけていく！

・・・ダダダッ！ドガアアアアッン・

しかし、その間に再び姿勢を整えたサイドアップから放たれるガトリングガンはターンオーバーの左腕を直撃し、腕の関節部に直撃し、カバーのかけられた上腕の人工筋肉を貫通し、

後ろへと引っ張られる衝撃と共に、次の瞬間、ターンオーバーのアサルトライフルを握っていた左腕ごともぎ取れて爆発する！

キュイイイン！！

左腕の爆発と共にバランスを崩し、その場に転がるように倒れる  
巨大なターンオーバーの機体に、ゆっくりと近づくサイドアップ。  
先ほどの掃射で、弾の無くなつたガトリングガンを  
その場に投げ捨てる、何かの重低音と共にサイドアップの両肩の  
ビーム砲が光る！

キュオオオ・・・！

勝ち誇ったようなサイドアップを前にして

自身の重さで砂へと沈んでいくターンオーバー。

サイドアップの肩のビーム砲は緑色の光点を膨らませ  
今にもターンオーバーを貫くビームを待機させる。

ヒュウウウ・・・！

巨大な砂漠の真ん中に突風が吹き、砂塵が巻き上がるその時だつた！  
まるで力を失うようにそれまでまばゆく光るサイドアップの  
両肩のビーム砲の光が失われ、機体の出力が急激に下がつたのだ！

ブウン！ガシュッ！

それを見逃さなかつたターンオーバーは、一瞬の隙をつき  
脚部のダッシュユニットをフル活動させ、姿勢を無理やり起こすと  
右手に握られた高熱化したザーマルブレードをサイドアップの  
コクピット部分に突きたてた！

バリリ・・・バリ！－ズドッ！－

ザーマルブレードが突き刺さったサイドアップの  
コクピットの外側からは電気のスパークのようなものと火花が放た  
れる！

グワン・・・グイイイン！

その時、重い音を立てながらサイドアップのパイロットが急に開き  
それまで操縦していたパイロットが、血に濡れたパイロットスースを  
覗かせながら、必死そうに、だがどこか優しさに満ちた目でこちら  
に向けて  
口をパクパクさせながら何か喋っている。

「あり・・・が・・・とう・・・これで・・・僕が・・・最後じゃない」

そつぬづやぬやサイドアップのパイロットは絶命した。

そして、そう時を待たずしてサイドアップは、

重みと共に大量の砂を巻き上げ、その場に崩れた残骸のASAの一

部となつた。

「う・う・う・お、オオオオオオオオオッ！――」

最後の戦いに勝利したASA『ターンオーバー』に乗つたパイロットは  
むき出しになつたコクピットにつなだれるように思いつきり手を  
コクピットの板に叩きつけると、灰色の虚空に向かつて泣き叫んだ。

砂漠は冷たい風を運び、砂は贊歌を歌つよつに勢い良く巻き上がる。  
最後の人類を寂しく、褒め称えるように。

これが、人類の残した最後の戦いの記録である。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7966d/>

『ラストバトルアクト・2212』

2010年10月22日00時01分発行